

当別から全国へ 「幸せ」を運ぶ！

現代を生きる



市川農場 市川 ともひろ 智大 さん

広大な大地で
育ったアスパラ →



←丁寧に選別して
当別から全国へ発送！

市川農場で生産するアスパラには全国各地から根強いリピーターがあり、ふるさと納税サイト「さとふる」の月間ランキング全国第1位（令和3年4月期）に輝きました。今回は市川農場の市川智大さんにお話をお聞きしました。

夢はメジャーリーガー

7歳で野球を始めてから野球一筋。当別中野球部でキャプテンを務め、進路相談では将来メジャーリーガーになりたいと話し、先生方からあきれられていました。

高校は野球推薦で札幌日大へ。当時創立5年目の新しい学校で、他の強豪校に入る選択肢もありましたが、自分達が甲子園に行けば“初”出場が目立つことができると思い、進学を決めました。入学後は1年春からベンチ入りするも、ケガが多く、チームは3年間甲子園はおろか全道大会にも出場できませんでした。

高校卒業後は野球で一般企業に就職。選手として4年間プレーしましたが、ここでもケガに悩まされ、引退を決意。以降は、野球部が全国大会に出場する時の周辺業務、広報活動などチームをサポートしていました。

元同僚の言葉を信じて

転職となったのは31歳の時。入社して10数年経ち、目に見えない金融商品を扱う会社勤めをする中で、「もの作りがしたい！」と思うようになり、退職を決意。何かを作ろうと思った時、食べ物を作る事以外思いつかなかったもので、周囲の反対意見を押し切り、当別に戻って農業を始めました。

いざ始めたものの、周りの同世代と比べてかなり遅いスタート。今後生き残るには、自分にしかない武器を身に付けなければいけないと思いました。会社員時代の同僚に作ったものを送り、都度感想を聞いていたのですが、その中で普段食べているものとは全然違うと言われたのがアスパラでした。

当時、市川農場ではアスパラは家庭菜園で作る程度で、販売はしていませんでしたが、同僚の言葉を信じてアスパラを極めよう一念発起。インターネットなどでアスパラについて学び、周囲の先輩達にも教えてもらいながら、道立図書館にも足しげく通って「アスパラ」と書いてある書物を片っ端から読み漁るなどして、市川農場のアスパラが誕生しました。

味のをせるための努力

味が濃いとか、甘い、みずみずしい、柔らかいという感想を多くもらいます。理由の一つに、当別の畜産農家のたい肥と米ぬかをブレンドした肥料を使っていることが挙げられます。風が強く、雪深いという当別の気象条件も要因の一つです。育った環境が厳しければ厳しいほど、作物がおいしくなると考えています。当別の地から生まれ、当別のものにこだわったアスパラをたくさんの人に食べてもらいたいです。

全国の食卓を明るく照らす

お客様からの「おいしい！」という声が、何よりも働く原動力となっています。80歳を過ぎた方から「今までの人生で食べた中で一番おいしかった」とか、野菜嫌いの子供から「市川さんのアスパラは果物のように甘くて、何本でも食べられた」などの感想が全国から寄せられています。そうした“生”の声を聞く度に、農業を始めてよかったと実感しています。これからも、全国の食卓を明るく、楽しくできるように、幸せを届ける仕事をします。